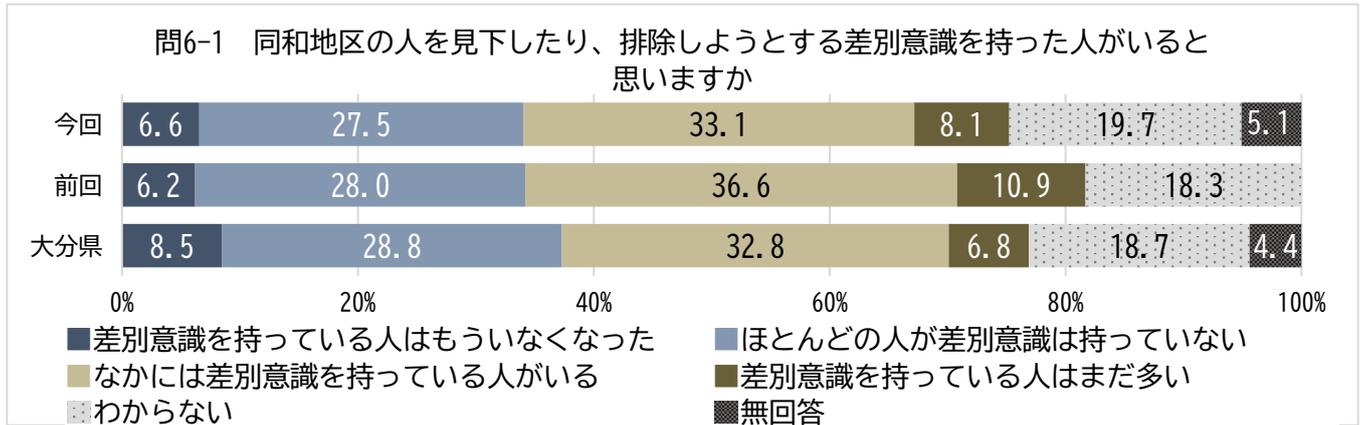


8. 同和問題(部落差別問題)



問6-1 同和地区を見下したり排除しようとする差別意識×【性別】【年齢】【職業】
【差別されたり自分の人権が侵害された】

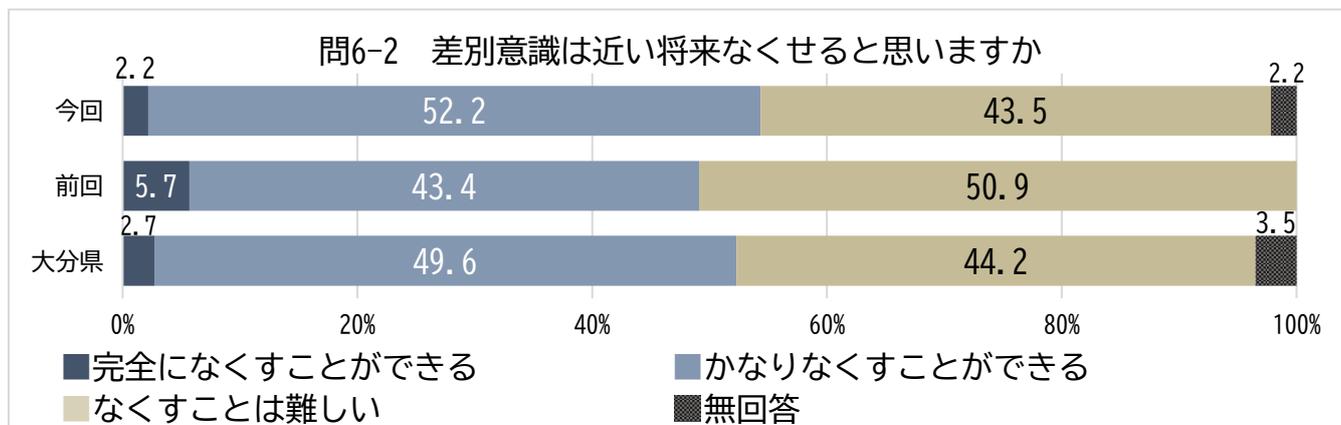
%		問6-1 同和地区を見下したり、排除しようとする差別意識						
		合計	差別意識を持っている人はもういない	ほとんどの人が差別意識は持っていない	なかには差別意識を持っている人がいる	差別意識を持っている人はまだ多い	わからない	無回答
性別	全体	335	6.6	27.5	33.1	8.1	19.7	5.1
	男性	155	7.1	30.3	27.7	11.6	17.4	5.8
	女性	174	6.3	25.3	38.5	4.6	21.3	4.0
	男か女が答えることに抵抗を感じる	2	0.0	0.0	0.0	50.0	50.0	0.0
	無回答	4	0.0	25.0	25.0	0.0	25.0	25.0
年齢	全体	335	6.6	27.5	33.1	8.1	19.7	5.1
	18～19歳	24	4.2	29.2	29.2	4.2	33.3	0.0
	20～29歳	24	4.2	20.8	29.2	0.0	45.8	0.0
	30～39歳	35	5.7	25.7	37.1	2.9	28.6	0.0
	40～49歳	48	6.3	20.8	45.8	12.5	14.6	0.0
	50～59歳	52	5.8	26.9	40.4	11.5	15.4	0.0
	60～69歳	49	2.0	22.4	42.9	14.3	14.3	4.1
	70～79歳	61	11.5	41.0	13.1	8.2	13.1	13.1
80歳以上	42	9.5	26.2	28.6	2.4	16.7	16.7	
職業	全体	335	6.6	27.5	33.1	8.1	19.7	5.1
	自営業・家族従業	33	15.2	27.3	18.2	9.1	18.2	12.1
	正社員・正規職員	89	5.6	24.7	38.2	7.9	22.5	1.1
	契約社員・派遣社員	9	0.0	33.3	22.2	11.1	33.3	0.0
	公務員	11	0.0	27.3	45.5	0.0	27.3	0.0
	教職員	5	0.0	0.0	60.0	40.0	0.0	0.0
	臨時・パート・アルバイト	47	4.3	27.7	42.6	8.5	14.9	2.1
	専ら家事従事	56	8.9	28.6	30.4	5.4	17.9	8.9
	無職	43	9.3	39.5	23.3	9.3	14.0	4.7
	学生	21	4.8	23.8	33.3	4.8	33.3	0.0
その他	21	0.0	19.0	33.3	9.5	19.0	19.0	
差別されたり自分の人権が侵害された	全体	335	6.6	27.5	33.1	8.1	19.7	5.1
	ある	82	7.3	18.3	39.0	13.4	18.3	3.7
	ない	249	6.4	30.9	31.3	6.4	20.1	4.8
	無回答	4	0.0	0.0	25.0	0.0	25.0	50.0

問6-1

同和地区を見下したり、排除しようとする差別意識×【広報紙で人権や同和問題についての記事を読んだことがあるか】【人権問題のテレビ・ラジオを見た】【人権に関する講演会や研修会・学習会等に何回くらい参加】【人権教育や同和問題について教育を受けた】

%		問6-1 同和地区を見下したり、排除しようとする差別意識							
		合計	差別意識を持っている人はもういない	ほとんどの人が差別意識を持っていない	なかには差別意識を持っている人がいる	差別意識を持っている人はまだ多い	わからない	無回答	
広報紙で人権や同和問題についての記事を読んだことがあるか	全体	335	6.6	27.5	33.1	8.1	19.7	5.1	
	読んだことがある	190	6.8	29.5	38.4	10.5	13.2	1.6	
	読んだことがない	93	6.5	23.7	26.9	7.5	35.5	0.0	
	広報紙を見たことがない	27	3.7	40.7	37.0	0.0	18.5	0.0	
	無回答	25	8.0	12.0	12.0	0.0	12.0	56.0	
人権や同和問題に関する映画やビデオ、テレビ番組を見たりラジオを聞いたことがあるか	全体	335	6.6	27.5	33.1	8.1	19.7	5.1	
	ある	208	6.3	26.9	38.0	10.6	17.3	1.0	
	ない	104	7.7	33.7	26.9	4.8	26.0	1.0	
	無回答	23	4.3	4.3	17.4	0.0	13.0	60.9	
人権に関する講演会や研修会・学習会等に何回くらい参加	全体	335	6.6	27.5	33.1	8.1	19.7	5.1	
	1回もない	137	5.1	33.6	25.5	5.8	28.5	1.5	
	1～2回	71	11.3	31.0	29.6	8.5	18.3	1.4	
	3～4回	29	6.9	24.1	37.9	17.2	13.8	0.0	
	5～6回	23	4.3	34.8	52.2	4.3	4.3	0.0	
	7～9回	8	0.0	25.0	75.0	0.0	0.0	0.0	
	10回以上	44	6.8	13.6	50.0	15.9	13.6	0.0	
	無回答	23	4.3	4.3	17.4	0.0	13.0	60.9	
人権問題や同和問題について教育を受けた	小学校	全体	335	6.6	27.5	33.1	8.1	19.7	5.1
		かなり学んだ	38	5.3	23.7	50.0	10.5	10.5	0.0
		少しは学んだ	155	6.5	24.5	36.8	9.7	21.9	0.6
		全く学んでいない	97	5.2	40.2	27.8	6.2	19.6	1.0
		行っていない	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
		無回答	45	11.1	13.3	17.8	4.4	20.0	33.3
	中学校	全体	335	6.6	27.5	33.1	8.1	19.7	5.1
		かなり学んだ	36	2.8	16.7	58.3	2.8	16.7	2.8
		少しは学んだ	171	7.0	26.9	33.9	9.9	21.6	0.6
		全く学んでいない	88	5.7	37.5	30.7	8.0	18.2	0.0
		行っていない	1	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
	無回答	39	10.3	17.9	12.8	5.1	15.4	38.5	
	高校	全体	335	6.6	27.5	33.1	8.1	19.7	5.1
		かなり学んだ	37	0.0	16.2	59.5	2.7	21.6	0.0
		少しは学んだ	132	9.8	28.8	33.3	7.6	19.7	0.8
		全く学んでいない	110	2.7	33.6	31.8	13.6	17.3	0.9
		行っていない	12	16.7	25.0	16.7	0.0	41.7	0.0
		無回答	44	9.1	18.2	18.2	2.3	18.2	34.1
	大学・短大・高専	全体	335	6.6	27.5	33.1	8.1	19.7	5.1
		かなり学んだ	8	0.0	37.5	37.5	25.0	0.0	0.0
少しは学んだ		43	9.3	16.3	55.8	2.3	14.0	2.3	
全く学んでいない		100	5.0	31.0	33.0	13.0	18.0	0.0	
行っていない		102	8.8	29.4	28.4	6.9	24.5	2.0	
無回答	82	4.9	25.6	26.8	4.9	20.7	17.1		

同和地区の人を見下したり、排除しようとする差別意識を持った人がいると思いますかについて、前回と比べると、差別意識を持っている人はもういなくなった0.4%増（今回6.6%前回6.2%）、ほとんどの人が差別意識は持っていない0.5%減（今回27.5%前回28.0%）、なかには差別意識を持っている人がいる3.5%減（今回33.1%前回36.6%）、差別意識を持っている人はまだ多い2.8%減（今回8.1%前回10.9%）、わからない1.4%増（今回19.7%前回18.3%）となっています。県との比較では、差別意識を持っている人はもういなくなった、ほとんどの人が差別意識は持っていないが34.0%で県37.3%よりも3.3%低く、なかには差別意識を持っている人がいる、差別意識を持っている人はまだ多いが41.2%で県39.6%よりも1.6%多く、わからないが19.7%県18.7%よりも1.0%多くなっています。



問6-2 差別意識は近い将来なくすことができるか×【性別】【年齢】【職業】
【差別されたり自分の人権が侵害された】

		問6-2 差別意識は近い将来なくすことができるか				
		合計	完全になくす ことができる	かなりなくす ことができる	なくすことは 難しい	無回答
性別	全体	138	2.2	52.2	43.5	2.2
	男性	61	1.6	47.5	49.2	1.6
	女性	75	1.3	56.0	40.0	2.7
	男か女か答えることに抵抗を感じる	1	100.0	0.0	0.0	0.0
	無回答	1	0.0	100.0	0.0	0.0
年齢	全体	138	2.2	52.2	43.5	2.2
	18～19歳	8	0.0	37.5	62.5	0.0
	20～29歳	7	0.0	28.6	71.4	0.0
	30～39歳	14	0.0	57.1	42.9	0.0
	40～49歳	28	3.6	35.7	53.6	7.1
	50～59歳	27	0.0	55.6	40.7	3.7
	60～69歳	28	7.1	50.0	42.9	0.0
	70～79歳	13	0.0	76.9	23.1	0.0
80歳以上	13	0.0	76.9	23.1	0.0	
職業	全体	138	2.2	52.2	43.5	2.2
	自営業・家族従業	9	11.1	33.3	44.4	11.1
	正社員・正規職員	41	0.0	46.3	51.2	2.4
	契約社員・派遣社員	3	0.0	0.0	100.0	0.0
	公務員	5	0.0	60.0	40.0	0.0
	教職員	5	20.0	40.0	20.0	20.0
	臨時・パート・アルバイト	24	0.0	50.0	50.0	0.0
	専ら家事従事	20	5.0	75.0	20.0	0.0
	無職	14	0.0	57.1	42.9	0.0
	学生	8	0.0	37.5	62.5	0.0
	その他	9	0.0	77.8	22.2	0.0
差別されたり 自分の人権が 侵害された	全体	138	2.2	52.2	43.5	2.2
	ある	43	2.3	48.8	48.8	0.0
	ない	94	1.1	54.3	41.5	3.2
	無回答	1	100.0	0.0	0.0	0.0

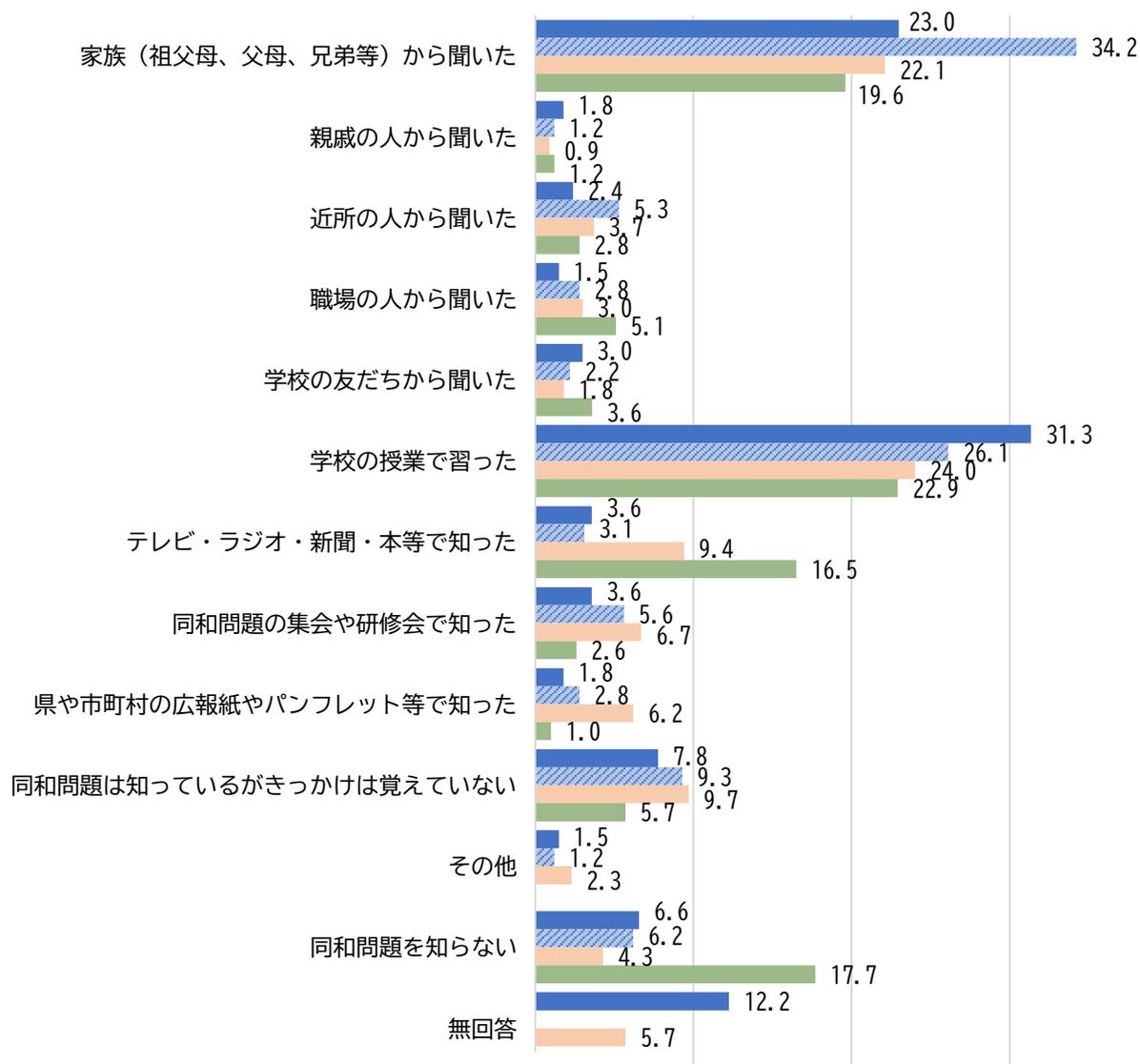
%		問6-2 差別意識は近い将来なくすることができるか					
		合計	完全になく ことができる	かなりなく ことができる	なくすことは 難しい	無回答	
人権に関する講演会や研修会・学習会等に何回くらい参加	全体	138	2.2	52.2	43.5	2.2	
	1回もない	43	2.3	58.1	37.2	2.3	
	1～2回	27	0.0	51.9	44.4	3.7	
	3～4回	16	0.0	43.8	56.3	0.0	
	5～6回	13	7.7	46.2	46.2	0.0	
	7～9回	6	0.0	33.3	66.7	0.0	
	10回以上	29	3.4	55.2	37.9	3.4	
	無回答	4	0.0	50.0	50.0	0.0	
人権問題や同和問題について教育を受けた	小学校	全体	138	2.2	52.2	43.5	2.2
		かなり学んだ	23	0.0	39.1	60.9	0.0
		少しは学んだ	72	0.0	50.0	45.8	4.2
		全く学んでいない	33	6.1	60.6	33.3	0.0
		行っていない	0	0.0	0.0	0.0	0.0
		無回答	10	10.0	70.0	20.0	0.0
	中学校	全体	138	2.2	52.2	43.5	2.2
		かなり学んだ	22	0.0	36.4	63.6	0.0
		少しは学んだ	75	1.3	46.7	48.0	4.0
		全く学んでいない	34	2.9	70.6	26.5	0.0
		行っていない	0	0.0	0.0	0.0	0.0
		無回答	7	14.3	71.4	14.3	0.0
	高校	全体	138	2.2	52.2	43.5	2.2
		かなり学んだ	23	0.0	43.5	56.5	0.0
		少しは学んだ	54	3.7	51.9	42.6	1.9
		全く学んでいない	50	2.0	52.0	42.0	4.0
		行っていない	2	0.0	100.0	0.0	0.0
		無回答	9	0.0	66.7	33.3	0.0
大学・短大・高専	全体	138	2.2	52.2	43.5	2.2	
	かなり学んだ	5	20.0	0.0	80.0	0.0	
	少しは学んだ	25	0.0	64.0	32.0	4.0	
	全く学んでいない	46	2.2	45.7	50.0	2.2	
	行っていない	36	0.0	44.4	52.8	2.8	
	無回答	26	3.8	73.1	23.1	0.0	

問6-1で、なかには差別意識を持っている人がいる、差別意識を持っている人はまだ多いを選んだ方に、差別意識は近い将来なくすることができると思いますかと質問しました。該当者が138人で、前回175人と比べると、完全になくすることができる3.5%減（今回2.2%前回5.7%）、かなりなくすることができる8.8%増（今回52.2%前回43.4%）、なくすことは難しい7.4%減（今回43.5%前回50.9%）となっています。県との比較では、完全になくすることができるが県2.7%よりも0.5%低く、かなりなくすることができるが県49.6%よりも2.6%高く、なくすことは難しいが県44.2%よりも0.7%低く、なっています。

性別、年齢別ではかなりなくすることができるが多くなっています。30歳代、50歳代以上の方が多く回答をしています。40歳代20歳代以下の年齢では、なくすことが難しいが多くなっています。職業別では、正社員・正規職員、公務員、教職員、専ら家事従事、無職、その他でかなりなくすることができるが多く、自営業・家族従業、契約社員・派遣社員、学生でなくすことは難しいが多く、臨時・パート・アルバイトでは、かなりなくすることができる、なくすことは難しいが同じ割合となっています。差別や人権侵害の経験がある人で、かなりなくすることができる、なくすことは難しいが同じ割合となっています。経験のない人でかなりなくすることができるが多くなっています。人権問題に関する講演会や研修会・学習会等に参加した回数が多い人ほどかなりなくすることができるが多くなっています。大学・短大・高専で人権問題についてかなり学んだ人でなくすことは難しいが多くなっています。

問6-3 同和問題を初めて知ったきっかけ

(%) 0.0 10.0 20.0 30.0 40.0



■今回 ■前回 ■大分県 ■全国

	家族(祖父母、父母、兄弟等)から	親戚の人から聞いた	近所の人から聞いた	職場の人から聞いた	学校の友だちから聞いた	学校の授業で習った	テレビ・ラジオ・新聞・本等で知った	同和問題の集会や研修会で知った	県や市町村の広報紙やパンフレット	知っているがきっかけは覚えていない	その他	同和問題を知らない	無回答
今回	23.0	1.8	2.4	1.5	3.0	31.3	3.6	3.6	1.8	7.8	1.5	6.6	12.2
前回	34.2	1.2	5.3	2.8	2.2	26.1	3.1	5.6	2.8	9.3	1.2	6.2	
差(前回)	-11.2	0.6	-2.9	-1.3	0.8	5.2	0.5	-2.0	-1.0	-1.5	0.3	0.4	12.2
大分県	22.1	0.9	3.7	3.0	1.8	24.0	9.4	6.7	6.2	9.7	2.3	4.3	5.7
差(県)	0.9	0.9	-1.3	-1.5	1.2	7.3	-5.8	-3.1	-4.4	-1.9	-0.8	2.3	6.5
全国	19.6	1.2	2.8	5.1	3.6	22.9	16.5	2.6	1.0	5.7		17.7	
差(全国)	3.4	0.6	-0.4	-3.6	-0.6	8.4	-12.9	1.0	0.8	2.1	1.5	-11.1	12.2

同和問題を初めて知ったきっかけは何ですかとの質問では、学校の授業で習った31.3%、家族(祖父母、父母、兄弟等)から23.0%、知っているがきっかけは覚えていない7.8%が多くなっています。

県の調査では、学校の授業で習った24.0%、家族(祖父母、父母、兄弟等)から22.1%、テレビ・ラジオ・新聞・本等で知った9.4%が多く、全国調査(内閣府「人権擁護に関する世論調査」平成24年8月調査)では、学校の授業で習った22.9%、家族(祖父母、父母、兄弟等)から19.6%、同和問題を知らない17.7%、テレビ・ラジオ・新聞・本等で知った全国16.5%が多くなっています。

問6-3

同和問題を初めて知ったきっかけ×【性別】【年齢】【職業】

		問6-3 同和問題を初めて知ったきっかけ													
		合計	家族（祖父母、父母、兄弟等）から	親戚の人から聞いた	近所の人から聞いた	職場の人から聞いた	学校の友だちに人から聞いた	学校の授業で習った	テレビ・ラジオ・新聞・本等で知った	同和問題の集会や研修会で知った	県や市町村の広報紙やパンフレット	知っているがききつけは覚えていない	その他	同和問題を知らない	無回答
性別	全体	335	23.0	1.8	2.4	1.5	3.0	31.3	3.6	3.6	1.8	7.8	1.5	6.6	12.2
	男性	155	22.6	1.3	1.9	2.6	1.9	24.5	5.2	5.8	1.9	9.7	1.3	5.2	16.1
	女性	174	23.6	2.3	2.9	0.0	4.0	36.8	2.3	1.7	1.7	6.3	1.7	8.0	8.6
	男か女が答えることに抵抗を感じる	2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	無回答	4	25.0	0.0	0.0	25.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0
年齢	全体	335	23.0	1.8	2.4	1.5	3.0	31.3	3.6	3.6	1.8	7.8	1.5	6.6	12.2
	18～19歳	24	8.3	0.0	0.0	0.0	4.2	75.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	12.5	0.0
	20～29歳	24	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	54.2	0.0	0.0	0.0	4.2	0.0	33.3	8.3
	30～39歳	35	20.0	0.0	0.0	0.0	2.9	48.6	2.9	0.0	0.0	5.7	0.0	8.6	11.4
	40～49歳	48	12.5	4.2	2.1	0.0	2.1	56.3	0.0	2.1	2.1	2.1	0.0	6.3	10.4
	50～59歳	52	30.8	1.9	1.9	3.8	0.0	32.7	1.9	3.8	0.0	9.6	1.9	3.8	7.7
	60～69歳	49	36.7	4.1	2.0	2.0	6.1	12.2	6.1	4.1	0.0	8.2	2.0	4.1	12.2
	70～79歳	61	26.2	1.6	1.6	1.6	6.6	8.2	6.6	4.9	6.6	13.1	4.9	1.6	16.4
	80歳以上	42	38.1	2.4	2.4	2.4	9.5	11.9	9.5	7.1	9.5	19.0	7.1	2.4	23.8
職業	全体	335	23.0	1.8	2.4	1.5	3.0	31.3	3.6	3.6	1.8	7.8	1.5	6.6	12.2
	自営業・家族従業	33	33.3	0.0	6.1	3.0	3.0	15.2	0.0	0.0	3.0	9.1	6.1	3.0	18.2
	正社員・正規職員	89	15.7	0.0	2.2	2.2	1.1	42.7	4.5	2.2	1.1	9.0	0.0	9.0	10.1
	契約社員・派遣社員	9	11.1	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	11.1	11.1	22.2	11.1
	公務員	11	0.0	9.1	0.0	0.0	0.0	54.5	0.0	9.1	0.0	9.1	0.0	9.1	9.1
	教職員	5	60.0	0.0	0.0	0.0	0.0	40.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	臨時・パート・アルバイト	47	27.7	0.0	2.1	0.0	8.5	36.2	2.1	2.1	2.1	6.4	0.0	6.4	6.4
	専ら家事従事	56	30.4	7.1	3.6	0.0	7.1	17.9	5.4	3.6	0.0	3.6	3.6	3.6	14.3
	無職	43	27.9	2.3	0.0	4.7	0.0	11.6	7.0	9.3	4.7	14.0	0.0	2.3	16.3
	学生	21	4.8	0.0	0.0	0.0	0.0	76.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	14.3	4.8
	その他	21	23.8	0.0	4.8	0.0	0.0	14.3	4.8	9.5	4.8	9.5	0.0	4.8	23.8

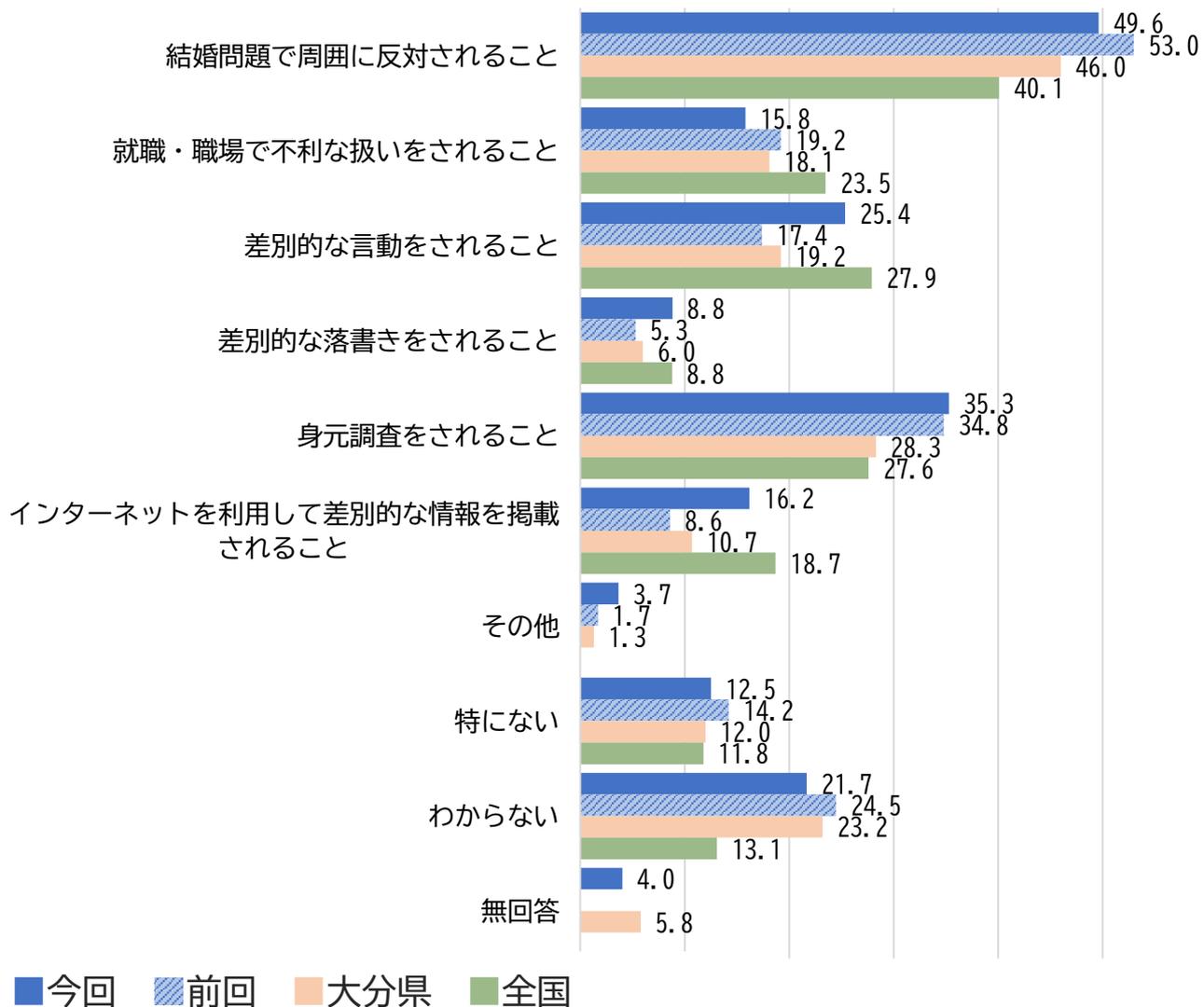
性別では、男性女性共に学校の授業で習ったが一番多いです。

年齢別では、18～19歳以上50歳代までの方が、学校の授業で習ったが多く、60歳代以上80歳以上までが、家族(祖父母、父母、兄弟等)から、が多くなっています。

職業別では、自営業・家族従業、教職員、専ら家事従事、無職、その他の方が、家族(祖父母、父母、兄弟等)から、正社員・正規職員、契約社員・派遣社員、公務員、臨時・パート・アルバイト、学生の方が、学校の授業で習った、と多く回答しています。

問6-4 同和問題で問題となる項目

(%) 0.0 10.0 20.0 30.0 40.0 50.0 60.0



	結婚問題で周囲に反対されること	就職・職場で不利な扱いをされること	差別的な言動をされること	差別的な落書きをされること	身元調査をされること	インターネットを利用して差別的な書き込みをされること	その他	特にない	わからない	無回答
今回	49.6	15.8	25.4	8.8	35.3	16.2	3.7	12.5	21.7	4.0
前回	53.0	19.2	17.4	5.3	34.8	8.6	1.7	14.2	24.5	
差(前回)	-3.4	-3.4	8.0	3.5	0.5	7.6	2.0	-1.7	-2.8	4.0
大分県	46.0	18.1	19.2	6.0	28.3	10.7	1.3	12.0	23.2	5.8
差(県)	3.6	-2.3	6.2	2.8	7.0	5.5	2.4	0.5	-1.5	-1.8
全国	40.1	23.5	27.9	8.8	27.6	18.7		11.8	13.1	
差(全国)	9.5	-7.7	-2.5	0.0	7.7	-2.5	3.7	0.7	8.6	4.0

問6-3で同和問題（部落差別問題）を知っているとした人（該当者272人）に、同和問題として現在、起きていると思うことをいくつでも選んでもらいました。結婚に反対されること49.6%、身元調査をされること35.3%、差別的な言動をされること25.4%、インターネットを利用して差別的な情報を掲載されること16.2%が多くなっています。県では、結婚に反対されること46.0%、身元調査をされること28.3%、差別的言動をされること19.2%が多く、全国調査（内閣府「人権擁護に関する世論調査」平成24年8月調査）では、結婚に反対されること40.1%、差別的言動をされること27.9%、身元調査をされること27.6%が多くなっています。前回（該当者302人）と比べて、差別的な言動をされる、差別的な落書きをされること、身元調査をされる、インターネットを利用して差別的な情報を掲載されるが多くなっています。

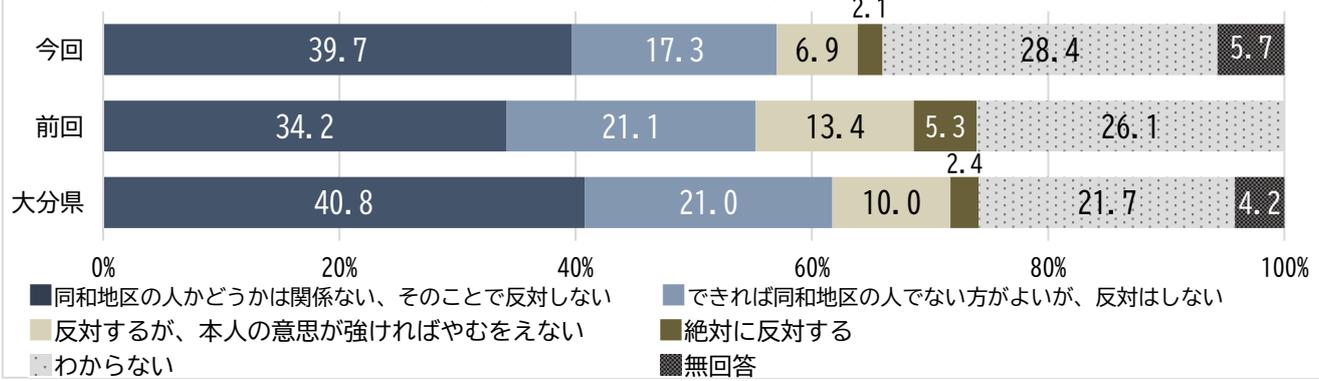
		問6-4 同和問題として現在起きていると思うこと										
		合計	結婚問題で周囲に反対されること	就職・職場で不利な扱いをされること	差別的な言動をされること	差別的な落書きをされること	身元調査をされること	インターネットを利用して差別的な書き込みをされること	その他	特にない	わからない	無回答
性別	全体	272	49.6	15.8	25.4	8.8	35.3	16.2	3.7	12.5	21.7	4.0
	男性	122	50.0	14.8	23.0	13.1	35.2	18.0	0.8	18.0	21.3	3.3
	女性	145	49.0	15.2	26.9	4.8	35.2	14.5	5.5	8.3	21.4	4.8
	男か女か答えることに抵抗を感じる	2	100.0	100.0	100.0	50.0	100.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0
	無回答	3	33.3	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	66.7	0.0
年齢	全体	272	49.6	15.8	25.4	8.8	35.3	16.2	3.7	12.5	21.7	4.0
	18～19歳	21	61.9	23.8	47.6	14.3	57.1	28.6	0.0	0.0	38.1	0.0
	20～29歳	14	28.6	28.6	28.6	14.3	42.9	7.1	0.0	7.1	21.4	0.0
	30～39歳	28	53.6	21.4	35.7	14.3	25.0	25.0	0.0	10.7	28.6	7.1
	40～49歳	40	47.5	12.5	30.0	12.5	35.0	22.5	2.5	5.0	20.0	0.0
	50～59歳	46	56.5	21.7	21.7	10.9	37.0	21.7	8.7	8.7	13.0	6.5
	60～69歳	41	56.1	14.6	31.7	7.3	51.2	17.1	7.3	14.6	14.6	7.3
	70～79歳	50	38.0	8.0	12.0	4.0	26.0	6.0	4.0	22.0	24.0	4.0
	80歳以上	32	50.0	9.4	12.5	0.0	18.8	3.1	0.0	21.9	25.0	3.1
職業	全体	272	49.6	15.8	25.4	8.8	35.3	16.2	3.7	12.5	21.7	4.0
	自営業・家族従業	26	42.3	3.8	11.5	3.8	34.6	15.4	3.8	34.6	23.1	3.8
	正社員・正規職員	72	43.1	15.3	25.0	9.7	26.4	9.7	2.8	6.9	25.0	4.2
	契約社員・派遣社員	6	50.0	33.3	0.0	0.0	50.0	16.7	0.0	16.7	16.7	0.0
	公務員	9	66.7	33.3	33.3	22.2	44.4	55.6	0.0	11.1	22.2	0.0
	教職員	5	100.0	60.0	60.0	60.0	80.0	80.0	20.0	0.0	0.0	0.0
	臨時・パート・アルバイト	41	58.5	24.4	31.7	7.3	39.0	17.1	2.4	2.4	14.6	12.2
	専ら家事従事	46	47.8	10.9	21.7	2.2	32.6	17.4	8.7	15.2	19.6	2.2
	無職	35	42.9	8.6	11.4	2.9	31.4	2.9	2.9	22.9	22.9	2.9
	学生	17	64.7	23.5	52.9	11.8	64.7	23.5	0.0	0.0	29.4	0.0
	その他	15	46.7	6.7	40.0	26.7	26.7	20.0	0.0	13.3	26.7	0.0

性別では結婚問題で周囲に反対されること（男性51.3%・女性48.3%）と、少し差があるほかは大きな違いはありません。

年齢別では、18～19歳、30歳代以上80歳以上の方が、結婚で周囲に反対されること、20歳代身元調査をされることが多くなっています。

職業別では、自営業・家族従業、正社員・正規職員、公務員、教職員、臨時・パート・アルバイト、専ら家事従事、無職、その他が結婚問題で周囲に反対されるが多くなっています。契約社員・派遣社員、学生の方では、結婚問題で周囲に反対されると身元調査をされることと同じ割合で、多くなっています。

問6-5 自分の子どもと同和地区の人との結婚



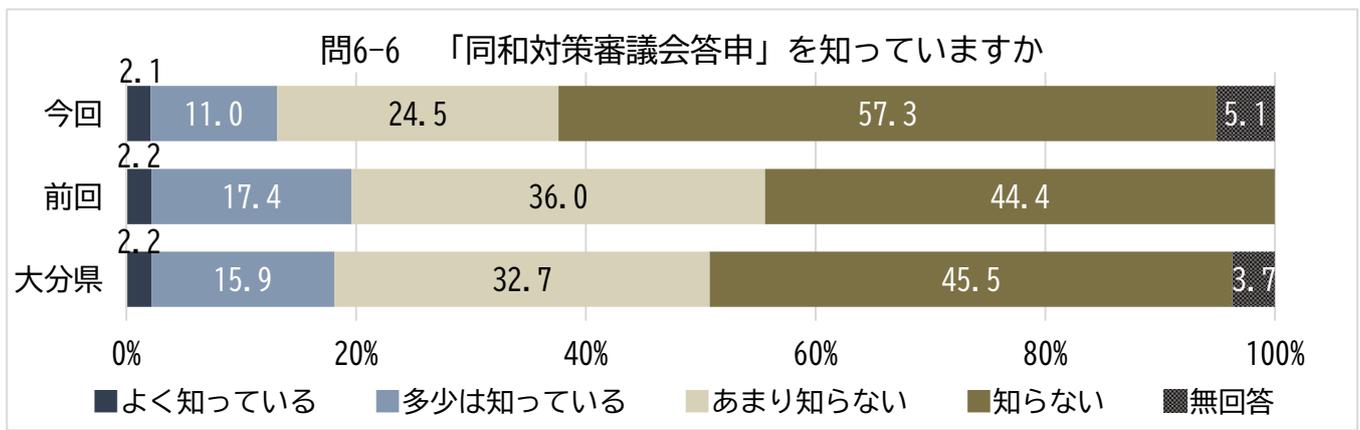
問6-5 お子さんが同和地区の人と結婚するとしたら×【性別】【年齢】【職業】
【差別されたり自分の人権が侵害された】

%		問6-5 お子さんが同和地区の人と結婚するとしたら						
		合計	同和地区の人かどうかは関係ない、そのことで反対しない	できれば同和地区の人でない方がよいが、反対はしない	反対するが、本人の意思が強ければやむをえない	絶対に反対する	わからない	無回答
性別	全体	335	39.7	17.3	6.9	2.1	28.4	5.7
	男性	155	40.6	17.4	6.5	3.2	25.8	6.5
	女性	174	39.1	17.2	7.5	1.1	30.5	4.6
	男か女が答えることに抵抗を感じる	2	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	無回答	4	0.0	25.0	0.0	0.0	50.0	25.0
年齢	全体	335	39.7	17.3	6.9	2.1	28.4	5.7
	18～19歳	24	75.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0
	20～29歳	24	50.0	4.2	0.0	0.0	45.8	0.0
	30～39歳	35	54.3	17.1	2.9	0.0	25.7	0.0
	40～49歳	48	39.6	16.7	6.3	2.1	35.4	0.0
	50～59歳	52	38.5	19.2	9.6	1.9	28.8	1.9
	60～69歳	49	36.7	18.4	12.2	6.1	20.4	6.1
	70～79歳	61	31.1	21.3	11.5	1.6	23.0	11.5
80歳以上	42	19.0	26.2	2.4	2.4	31.0	19.0	
職業	全体	335	39.7	17.3	6.9	2.1	28.4	5.7
	自営業・家族従業	33	36.4	15.2	9.1	3.0	24.2	12.1
	正社員・正規職員	89	37.1	16.9	3.4	1.1	40.4	1.1
	契約社員・派遣社員	9	11.1	11.1	11.1	11.1	44.4	11.1
	公務員	11	72.7	18.2	0.0	0.0	0.0	9.1
	教職員	5	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	臨時・パート・アルバイト	47	38.3	21.3	12.8	2.1	23.4	2.1
	専ら家事従事	56	33.9	19.6	5.4	0.0	32.1	8.9
	無職	43	27.9	27.9	11.6	4.7	23.3	4.7
	学生	21	81.0	0.0	0.0	0.0	19.0	0.0
	その他	21	38.1	9.5	9.5	4.8	19.0	19.0
差別や人権が侵害された経験	全体	335	39.7	17.3	6.9	2.1	28.4	5.7
	ある	82	40.2	19.5	4.9	1.2	29.3	4.9
	ない	249	39.4	16.9	7.6	2.4	28.5	5.2
	無回答	4	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0

%		問6-5 お子さんが同和地区の人と結婚するとしたら							
		合計	同和地区の人かどうかは関係ない、そのことで反対しない	できれば同和地区の人でない方がよいが、反対はしない	反対するが、本人の意思が強ければやむをえない	絶対に反対する	わからない	無回答	
人権に関する講演会や研修会・学習会等に何回くらい参加	全体	335	39.7	17.3	6.9	2.1	28.4	5.7	
	1回もない	137	32.1	20.4	6.6	2.9	36.5	1.5	
	1～2回	71	36.6	25.4	7.0	1.4	28.2	1.4	
	3～4回	29	41.4	20.7	10.3	0.0	24.1	3.4	
	5～6回	23	56.5	4.3	21.7	0.0	8.7	8.7	
	7～9回	8	62.5	12.5	0.0	0.0	25.0	0.0	
	10回以上	44	61.4	9.1	0.0	4.5	25.0	0.0	
	無回答	23	26.1	0.0	4.3	0.0	13.0	56.5	
人権問題や同和問題について教育を受けた	小学校	全体	335	39.7	17.3	6.9	2.1	28.4	5.7
		かなり学んだ	38	60.5	10.5	5.3	0.0	23.7	0.0
		少しは学んだ	155	45.2	15.5	6.5	1.9	29.0	1.9
		全く学んでいない	97	34.0	25.8	8.2	1.0	29.9	1.0
		行っていない	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
		無回答	45	15.6	11.1	6.7	6.7	26.7	33.3
	中学校	全体	335	39.7	17.3	6.9	2.1	28.4	5.7
		かなり学んだ	36	58.3	19.4	2.8	0.0	16.7	2.8
		少しは学んだ	171	42.1	15.8	8.2	1.8	30.4	1.8
		全く学んでいない	88	36.4	23.9	5.7	3.4	30.7	0.0
		行っていない	1	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
		無回答	39	17.9	7.7	7.7	2.6	25.6	38.5
	高校	全体	335	39.7	17.3	6.9	2.1	28.4	5.7
		かなり学んだ	37	54.1	18.9	5.4	0.0	21.6	0.0
		少しは学んだ	132	44.7	15.9	9.1	0.8	27.3	2.3
		全く学んでいない	110	36.4	20.0	4.5	3.6	34.5	0.9
		行っていない	12	50.0	25.0	0.0	0.0	25.0	0.0
		無回答	44	18.2	11.4	9.1	4.5	22.7	34.1
	大学・短大・高専	全体	335	39.7	17.3	6.9	2.1	28.4	5.7
		かなり学んだ	8	62.5	12.5	0.0	0.0	12.5	12.5
		少しは学んだ	43	37.2	18.6	7.0	0.0	34.9	2.3
		全く学んでいない	100	46.0	17.0	5.0	4.0	27.0	1.0
		行っていない	102	46.1	15.7	4.9	0.0	31.4	2.0
		無回答	82	23.2	19.5	12.2	3.7	24.4	17.1

あなたのお子さんが同和地区の人と結婚するとしたら、あなたはどのようにしますか(どうすると思いますか)という質問について、前回と比べると、そのことで反対などしない5.5%増(今回39.7%前回34.2%)、できれば同和地区の人でない方がよいが、反対はしない3.8%減(今回17.3%前回21.1%)、反対するが、本人の意思が強ければやむをえない6.5%減(今回6.9%前回13.4%)、絶対に反対する3.2%減(今回2.1%前回5.3%)、わからない2.3%増(今回28.4%前回26.1%)となっています。県との比較では、そのことで反対などしない、できれば同和地区の人でない方がよいが、反対はしないが57.0%で県61.8%よりも4.8%低く、できれば同和地区の人でない方がよいが、反対はしない、反対するが、本人の意思が強ければやむをえないが9.0%で県12.4%よりも3.4%低く、わからない28.4%で県21.7%よりも6.7%高く、わからないが県よりも多くなっています。

性別、年齢別、職業別、差別や人権が侵害された経験では、そのことで反対などしない、できれば同和地区の人でない方がよいが、反対はしないが多く回答されています。職業別の契約社員・派遣社員では、わからないが一番多く回答されています。



問6-6 「同和対策審議会答申」をご存じですか？×【性別】【年齢】【職業】
【差別されたり自分の人権が侵害された】

%		問6-6 「同和対策審議会答申」をご存じですか？					
		合計	よく知っている	多少は知っている	あまり知らない	知らない	無回答
性別	全体	335	2.1	11.0	24.5	57.3	5.1
	男性	155	2.6	15.5	20.6	54.8	6.5
	女性	174	1.1	7.5	28.7	59.2	3.4
	男か女が答えることに抵抗を感じる	2	50.0	0.0	0.0	50.0	0.0
	無回答	4	0.0	0.0	0.0	75.0	25.0
年齢	全体	335	2.1	11.0	24.5	57.3	5.1
	18～19歳	24	0.0	0.0	29.2	70.8	0.0
	20～29歳	24	0.0	4.2	25.0	70.8	0.0
	30～39歳	35	0.0	8.6	20.0	71.4	0.0
	40～49歳	48	2.1	2.1	22.9	72.9	0.0
	50～59歳	52	3.8	11.5	19.2	63.5	1.9
	60～69歳	49	2.0	12.2	30.6	53.1	2.0
	70～79歳	61	1.6	16.4	27.9	39.3	14.8
	80歳以上	42	4.8	23.8	21.4	35.7	14.3
職業	全体	335	2.1	11.0	24.5	57.3	5.1
	自営業・家族従業	33	3.0	3.0	15.2	60.6	18.2
	正社員・正規職員	89	0.0	4.5	24.7	69.7	1.1
	契約社員・派遣社員	9	0.0	0.0	22.2	77.8	0.0
	公務員	11	0.0	27.3	36.4	27.3	9.1
	教職員	5	60.0	40.0	0.0	0.0	0.0
	臨時・パート・アルバイト	47	0.0	6.4	29.8	61.7	2.1
	専ら家事従事	56	1.8	17.9	28.6	46.4	5.4
	無職	43	0.0	27.9	23.3	44.2	4.7
	学生	21	0.0	0.0	23.8	76.2	0.0
	その他	21	9.5	9.5	19.0	47.6	14.3
	差別や人権が侵害された経験	全体	335	2.1	11.0	24.5	57.3
ある		82	1.2	8.5	20.7	65.9	3.7
ない		249	2.4	12.0	25.7	55.0	4.8
	無回答	4	0.0	0.0	25.0	25.0	50.0

国が同和問題の解決に向けて総合的に取り組むきっかけになったのは、同和問題が基本的人権にかかわり、その解決は国の責務であり、かつ国民的課題でありことを述べた昭和40年の「同和対策審議会答申」でした。あなたはこの「同和対策審議会答申」をどの程度知っていますか、という質問では、前回と比べると、よく知っている0.1%減（今回2.1%前回2.2%）、多少は知っている6.4%減（今回11.0%前回17.4%）、あまり知らない11.5%減（今回24.5%前回36.0%）、知らない12.9%増（今回57.3%前回44.4%）となっています。県との比較では、よく知っている、多少は知っているが今回13.1%で県18.1%よりも5.0%少なく、あまり知らない知らないが今回81.8%で県78.2%よりも3.6%多くなっています。性別、年齢別、職業別、差別や人権が侵害された経験ではほとんどの方が、あまり知らない、知らないと回答をしています。年齢別では、若い方知っている人が少なくなっています。職業別では、教職員の方がよく知っている、多少は知っているが多くなっています。

問6-6

「同和対策審議会答申」をご存じですか？×【広報紙の人権問題についての記事を読んだことがあるか】【人権問題のテレビ・ラジオを見た】【人権に関する講演会や研修会・学習会等に何回くらい参加】【人権教育や同和問題について教育を受けた】

%		問6-6 「同和対策審議会答申」をご存じですか？						
		合計	よく知っている	多少は知っている	あまり知らない	知らない	無回答	
広報紙の人権問題についての記事を読んだことがあるか	全体	335	2.1	11.0	24.5	57.3	5.1	
	読んだことがある	190	3.2	16.8	28.4	50.5	1.1	
	読んだことがない	93	0.0	0.0	23.7	76.3	0.0	
	広報紙を見たことがない	27	0.0	14.8	14.8	70.4	0.0	
	無回答	25	4.0	4.0	8.0	24.0	60.0	
人権問題の映画やビデオ、テレビ番組を見たりラジオを聴いたことがあるか	全体	335	2.1	11.0	24.5	57.3	5.1	
	ある	208	3.4	15.9	26.9	52.9	1.0	
	ない	104	0.0	2.9	22.1	74.0	1.0	
	無回答	23	0.0	4.3	13.0	21.7	60.9	
人権に関する講演会や研修会・学習会等に何回くらい参加	全体	335	2.1	11.0	24.5	57.3	5.1	
	1回もない	137	0.0	4.4	23.4	72.3	0.0	
	1～2回	71	0.0	12.7	26.8	59.2	1.4	
	3～4回	29	6.9	6.9	24.1	62.1	0.0	
	5～6回	23	0.0	26.1	30.4	39.1	4.3	
	7～9回	8	0.0	0.0	62.5	25.0	12.5	
	10回以上	44	11.4	29.5	22.7	36.4	0.0	
	無回答	23	0.0	4.3	8.7	26.1	60.9	
人権問題や同和問題について教育を受けた	小学校	全体	335	2.1	11.0	24.5	57.3	5.1
		かなり学んだ	38	0.0	0.0	31.6	65.8	2.6
		少しは学んだ	155	1.9	9.7	26.5	61.3	0.6
		全く学んでいない	97	3.1	16.5	22.7	56.7	1.0
		行っていない	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
		無回答	45	2.2	13.3	15.6	37.8	31.1
	中学校	全体	335	2.1	11.0	24.5	57.3	5.1
		かなり学んだ	36	5.6	0.0	33.3	58.3	2.8
		少しは学んだ	171	1.2	10.5	26.9	60.8	0.6
		全く学んでいない	88	2.3	13.6	22.7	60.2	1.1
		行っていない	1	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
	無回答	39	2.6	17.9	10.3	33.3	35.9	
	高校	全体	335	2.1	11.0	24.5	57.3	5.1
		かなり学んだ	37	2.7	5.4	29.7	62.2	0.0
		少しは学んだ	132	2.3	12.1	28.8	55.3	1.5
		全く学んでいない	110	1.8	11.8	23.6	61.8	0.9
行っていない		12	0.0	8.3	8.3	83.3	0.0	
無回答		44	2.3	11.4	13.6	40.9	31.8	
大学・短大・高専	全体	335	2.1	11.0	24.5	57.3	5.1	
	かなり学んだ	8	25.0	12.5	25.0	37.5	0.0	
	少しは学んだ	43	4.7	23.3	30.2	41.9	0.0	
	全く学んでいない	100	1.0	11.0	28.0	59.0	1.0	
	行っていない	102	1.0	5.9	23.5	67.6	2.0	
無回答	82	1.2	11.0	18.3	52.4	17.1		

広報紙の人権問題についての記事を読んだことがあるか、人権問題の映画やビデオ、テレビ番組を見たりラジオを聴いたことがあるか、人権に関する講演会や研修会・学習会等に何回くらい参加、人権問題や同和問題について教育を受けたでは、あまり知らない、知らない、が多くなっています。

人権に関する講演会や研修会・学習会等に何回くらい参加したかでは、あまり知らない、知らない、が多く、参加回数が多いほど知らないと答えた人の割合が少なくなっています。